

平成 30 年度 第 16 回全国水産・海洋高等学校フィッシング技能コンテスト実施要項

全国水産高等学校長協会
教科「水産」研究委員会（海洋漁業部会）

1 目 的

- (1) 科目「水産海洋基礎」「漁業」「マリンスポーツ」の趣旨に則り、フィッシング（釣り）の技術や海浜等利用におけるマナー向上の契機とする。
- (2) 釣りを通じて海に親しむ機会の伸長に努めるとともに、各校や地域の環境保全を通じて、各校の教育活動を地域や中学校等へ発信する機会とする。
- (3) 「海の日」を活用した全国一斉の一体感ある取り組みとし、各校や全国の表彰を組み合わせることで、学校単位での活性化に資する。

2 日 時 平成 30 年 7 月 1 日～9 月 30 日

3 場 所 各校、各地域（海浜、防波堤、実習船上など）

4 実施方法

- (1) 海洋漁業部会が例示する要項に基づき、海浜清掃等の環境保全活動を含め、各校で実施要項を定める。
- (2) 各校の漁業・水産海洋基礎担当者を中心に校長が実行委員を選定し、実施する。

5 参加条件

- (1) 平成 30 年度に「高等学校漁業技術検定」または「水産海洋技術検定」を実施予定の学校
- (2) コンテスト当日、海浜清掃など、海の利用におけるマナー向上の取組を実施する学校
- (3) コンテストを教育課程に含まれない行事（授業・実習以外の行事）として実施できる学校
- (4) 原則として、地先水面（地域の海浜、河川・湖沼）で実施できる学校

6 参加申込

各校は、海洋漁業部会部会長に対し、実施要項を定めるとともに参加生徒数などについて、別紙様式 1 にて電子メールで申し込むこと。

なお、申込期限は 6 月 29 日（金） とする。

7 報 告

各校は、実施結果について報告するとともに、要項に示す基準に基づき釣果の概要を別紙様式 2 にて電子メールで報告する。また、実施の概要を示す写真や全長測定の証明写真も電子メールに添付すること。

なお、報告期限は 10 月 5 日（金） とする。

8 表 彰

(1) 各校での表彰

下記、【表彰部門】を基本に表彰基準を設け、各校で表彰する。各校独自の表彰も可とする。

(2) 全国表彰

海洋漁業部会部会長は、各校から報告があった釣果を精査し、表彰する。

- 【表彰部門】ア) シロギスの部、ブラックバスの部、マアジの部、アイナメの部
イ) 長もの部（マアナゴ、タチウオ、ウナギなど）
ウ) 大物の部（全長） ※別紙[1]参照

9 その他

補助金：海洋漁業部会は、実施各校に対して費用補助を行う。 ※別紙[2]参照

注 意：天候・潮汐等の影響を加味して安全を確保すること。

別紙[1]

表彰対象魚に関する基準

(1) 表彰部門

- (ア) シロギスの部、ブラックバスの部、マアジの部、アイナメの部
- (イ) 長ものの部 (マアナゴ、タチウオ、ウナギなど)
- (ウ) 大物の部 (全長)

(2) 表彰対象の基準

- ① (ア) の各部門においてエントリーできる全長の最低基準を以下の通りとする。

シロギス(15 c m)、ブラックバス(25 c m)、マアジ(20 c m)、アイナメ(15 c m)

- ② (イ) 長ものの部 および (ウ) 大物の部 に関して、一般に外道とされる魚類を外す。

一般に外道とされる魚類の例：サメ、エイ、ウツボなど

- ③ 全長測定を証明する記録画像が必要であり、記録がない場合は表彰の対象とならない。

別紙[2]

補助金に関する基準

◆補助金を下表のように参加人数によって配分する。

参加人数	補助金額
1 ~ 10	6,000 円
11 ~ 20	9,000 円
21 ~ 40	12,000 円
41 ~	15,000 円

様式1 申込み【各校→事務局】

〔本様式を参考に各校で作成し、メールにて申し込みください。 申込期限：6月29日（金）〕

〔提出先： 教科「水産」研究委員会 事務局：E-mail gyogyoubukai@yahoo.co.jp

本様式はホームページよりダウンロードできます。http://fc00041220170111.web3.blks.jp 〕

※申込対象は、漁業技術検定又は水産海洋技術検定を実施予定の学校です。

平成30年6月 日

教科「水産」研究委員会
海洋漁業部会 部会長 椎谷一幸 様

県立 水産高等学校
校 長 [公印省略]

平成30年度 第16回全国水産・海洋高等学校フィッシング技能コンテストについて（申込み）

標記の件について、下記のとおり申込みます。

記

1 実施日時

平成30年 月 日（ ） ～

2 場 所

県 市 （海岸・沖合）

3 参加者数

年生 約 名

4 経費の使途

5 助成金送金先（補助金に関する基準で配分します。）

振込銀行先名	支店名	預金種類
口座番号	店番 口座番号	
名義人		

6 事務局への連絡事項等

7 担当者

県立 水産高等学校
T e l F A X
E m a i l

様式2 報告【各校→事務局】

〔本様式を参考に各校で作成し、メールにて報告ください（複数枚可）。 申込期限：10月5日（金）〕
〔提出先： 教科「水産」研究委員会 事務局：E-mail gyogyoubukai@yahoo.co.jp〕

平成30年 月 日

教科「水産」研究委員会
海洋漁業部会 部会長 椎谷一幸 様

県立 水産高等学校
校 長 [公印省略]

第16回全国水産・海洋高等学校フィッシング技能コンテストについて（報告）

標記の件について、下記のとおり報告します。

記

- 1 実施日時 平成30年 月 日（ ） ～
- 2 場 所 県 市 （海岸・沖合）
（洋上は位置記入）緯度 ° ' N 経度 ° ' E
- 3 参加者数 年生 名
- 4 経費の使途
- 5 釣果報告（メール送信にて報告）
 - （1）シロギスの部、ブラックバスの部、アイナメの部、マアジの部、長ものの部の部門別に、上位3尾それぞれの写真と全長を報告してください。
 - （2）上記（1）以外で、大物の部の対象魚があれば、魚種と写真、全長を報告してください。
 - （3）全長とは、体の最前端（上下顎端）より尾鰭の最後端までの長さ（cm）とします。
写真から全長が明確に分かるように、巻き尺等を添えて撮影をお願いします。
 - （4）ファイル名は学校名がわかるような名前を付けて下さい。
 - （5）①海岸清掃及び釣り大会等の全体がわかるような写真、②全長測定写真（表彰対象魚がある場合で報告書内に貼り付けしなかった場合）をメールに添付してください。
- 6 新聞掲載等 JPGやPDFとして添付してください。集約させていただきます。
- 7 成果と課題
- 8 事務局への要望
- 9 担当者

県立 水産高等学校

T e l

F A X

E m a i l

【各校で使っていただくための実施要項（例です）】

平成 30 年 月 日

生徒の皆さん・保護者 様

平成 30 年度 第 16 回全国水産・海洋高等学校フィッシング技能コンテストのお知らせ
() 県立水産高等学校

1 目 的

- (1) 科目「水産海洋基礎」「漁業」「マリンスポーツ」の趣旨に則り、フィッシング（釣り）の技術や海浜等利用におけるマナー向上の契機とする。
- (2) 釣りを通じて海に親しむ機会の伸長に努めるとともに、各校や地域の環境保全を通じて、各校の教育活動を地域や中学校等へ発信する機会とする。
- (3) 「海の日」を活用した全国一斉の一体感ある取り組みとし、各校や全国の表彰を組み合わせることと、学校単位での活性化に資する。

2 日 時

平成 30 年 月 日 () 8 : 40 ~ 12 : 00

3 日 程

- (1) 8 : 40 ○○海岸集合
- (2) 8 : 45 開会式（校長あいさつ・担当者からの説明・諸注意等）
- (3) 9 : 00 一斉海岸清掃
- (4) 9 : 30 終了・ごみの整理・釣り競技説明・ルール説明・釣り具準備等
- (5) 10 : 00 釣り開始
- (6) 11 : 30 釣り終了・釣り具片付け・釣果検量
- (7) 12 : 00 閉会式（実行委員長講評・釣果表彰）・解散

4 対 象

海洋環境の保全と釣りに興味がある生徒（例：先着 50 名）

5 持ち物

釣り具（キス釣り具・ ）・タオル・帽子・体操服・長靴・軍手・水筒・クーラーボックス等 ※ ごみ袋及びエサ、針、おもり、氷は学校で準備します。

6 申込み

月 日 () までに、 科 先生まで申し込んでください。

7 その他

- (1) 小雨決行ですが、荒天時には別途連絡します。
- (2) 各自で暑さ対策等してください。
- (3) 参加者には、500ml ペットボトルのお茶を支給します。
- (4) 釣果は、学校表彰を行うとともに、全国からの結果に応じて、() のHPに掲載され、全国表彰されることがあります。
- (5) 費用の一部は、全国水産高等学校長協会 海洋漁業部会より助成されます。

切り取り線

平成 30 年 月 日

第 15 回全国水産・海洋高等学校フィッシング技能コンテストに申し込みます。

年 科 番 氏名

【各校で使っていただくための実施マニュアル（例です）】

こんなに簡単！！

平成30年6月 日

「平成30年度 第16回フィッシング技能コンテスト」 エントリーから実施まで

全国水産高等学校長協会

教科「水産」研究委員会 海洋漁業部会

	手順等	参考事項等
1	教科「水産」研究委員会海洋漁業部会からの文書到着 (または、ホームページからダウンロード)	校内へ提示、連絡 〔漁業技術検定又は水産海洋技術検定の実施校が対象です〕
2	担当者の決定	漁業技術検定又は水産海洋技術検定の担当者が担当します。
3	申込（メール） ※締切：6月29日（金）	教科「水産」研究委員会海洋漁業部会に、様式1で申し込みます。
4	校内担当者で打合せ	各学校での実施要項の提案→実施要項の校内決裁
5	補助金の受け取り	教科「水産」研究委員会海洋漁業部会より、各校の指定口座に振り込みます。
6	生徒・保護者向け案内の配布	各校で生徒の申込みを受け付けます
7	ごみ袋・釣り道具・救急用品・メガホン・氷等の準備	ごみ袋は、各自治体でボランティア用が用意（無料）される場合があります。
8	地元自治会等への連絡	必要に応じて行ってください。
9	報道機関への広報	必ず実施してください。
10	実施	荒天時の対応を決めておきます。
11	釣果の校内表彰	各校で自由に実施してください（省略されても差し支えありません。）
12	結果報告（メール） ※締切：10月5日（金）	様式2による実施報告 環境美化活動及び大会の様子や釣果を所定の方法で写真撮影し、成果と課題等を含めメールで報告してください。
13	海洋漁業部会より、該当があれば、全国表彰を実施	必要に応じて各校で伝達表彰

【役割分担表（例です）】

	役割	分担
1	大会委員長	校長 (総括・開会あいさつ等)
2	大会副委員長	副校長 (報道機関への広報)
3	実行委員長	教諭 (海洋漁業部会との窓口・生徒への案内)
4	実行委員	、 (役割7、8、9)
5	救護（お茶配布）	養護教諭
6	環境美化	保健部長 (ごみ袋、火箸等の準備・ごみ処理)
7	用具	(釣り具、エサ、氷等の準備)
8	計時・記録	(環境美化及び大会、釣果記録)
9	表彰	
10	その他	

【報道機関向け（例です）】

F A X 送信票

平成 30 年 月 日

各報道機関 様

県立 水産高等学校

下記の取材をお願いします。

記

平成 30 年度 第 16 回全国水産・海洋高等学校フィッシング技能コンテスト

- 主 催 全国水産高等学校長協会 教科「水産」研究委員会 海洋漁業部会
県立 水産高等学校
- 日 時
平成 30 年 月 日 () 小雨決行〔荒天時： 月 日を予備日とします。〕
9 : 00 ~ 12 : 00 [開会式・諸注意・海岸清掃・釣り大会・計測・閉会式]
- 内 容
(1) 海岸清掃 (拾ったごみが釣り大会の出場資格です。)
(2) 釣り大会・計測等 (海岸で 釣りをします。)
(3) 大漁鍋
- 大会コンセプト等
海への感謝・地域や環境への貢献・海に親しみ、海に学ぶ
- 場 所
市 海岸 (取材の際は、 時 分に、本校舎をお願いします)
- 参加者
県立 水産高等学校 生徒約 名、教員 名程度
- 表 彰
釣り大会の結果を、校内及び全国の水産・海洋系高校で表彰します。
- 本件の担当
県立 水産高等学校
〒〇〇〇-〇〇〇〇 県 市
T e l F A X
Email